



「正しい街」
(EMIミュージックジャパン)
椎名林檎
ジャズラックナンバー
JASRAC 出0715186-701号



「正しい街」とは福岡のこと。椎名自身が中高時代を過ごした、早良区の百道浜や室見川が出てくる。「都会では冬の匂いも正しくない百道浜も君も室見川も見えない」という歌詞は、2つの景観を特別なものにさせる。ファーストアルバム『無罪モラトリウム』に収録。

「正しい街」



「さわって・変わって」
(ユニバーサルミュージック)
スピッツ



福岡出身のポーカー・草野マサムネによる歌詞には、冒頭から「天神駅」という言葉が登場する。これにちなんで天神地下街で撮影されたジャケットは、無数の人々が行き交う地下の巨大な空間を上手く表現した1枚になっている。

「さわって・変わって」



能古島の片想い (詞曲 井上陽水)

つきせぬ波のざわめく声に 今夜は眠れそうにない
浜辺に降りて 裸足になれば とどかぬ波のものとかしき
僕の声が君にといたら ステキなのに
つめたい風は 季節を僕に 耳うちすると逃げてゆく
時折り砂は サラサラ泣いて 思わず僕ももらい泣き
僕の胸は君でいっぱい かわれそうだ
遠くに見える灯は 南へ行く船の 幸せかな
悲しいだけの今夜の気持ち なにかをすればまぎれると
星屑なんか 数えてみても 涙でそれも続かない
君が僕の中に居るかぎり 本当なんだ
波の声で 僕は眠れない



「能古島の片想い」
(ユニバーサルミュージック)
井上陽水

「能古島の片想い」

タイトルどおりに能古島を舞台につづった曲。歌詞を聴いていると、能古島のゆつたりとした浜辺の情景が浮かんでくる。1972年の作品、セカンドアルバム『陽水IIセンチメンタル』に収録。ファンが多く、今でも歌い継がれている。

音楽

メロディによって広がる風景が
リアリティをもつて心に響いてくる
今も昔も、多くのミュージシャンを輩出している福岡。心の原風景、懐かしき故郷への感情…、彼らが紡ぎ出す歌のフレーズから、福岡のまちな多彩な表情が垣間見られる。



「点と線」



「点と線」
(新潮文庫)
松本清張

香椎海岸で発見された男女の死体をめぐり、福岡のベテラン刑事が活躍するこの作品。舞台となったこの場所は、書かれた1958年当時とは異なっているものの、いまだに全国各地から清張ファンが訪れている。



「半島を出よ」



「半島を出よ」上・下
(幻冬舎)
村上龍

2011年の福岡、北朝鮮が特殊部隊を使って日本占領計画を立てるという衝撃的な内容のこの小説では、福岡市民にとって身近な場所である「シーホークホテル福岡」と「福岡ドーム(現ヤフードーム)」が舞台となることで、恐怖感を際立たせている。



「もしも、私があなただったら」



「もしも、私があなただったら」
(光文社)
白石一文

都市機能の便利さと ゆとりある生活。黄金比に 近い福岡のまちなバランス

「もしも、私があなただったら」作者
白石一文 さん

私は自分がよく知っている場所を書きたいタイプ。東京から戻り1年半経って、福岡のまち全体が再び把握できてから、ようやくここを舞台に書き始めました。福岡の良さは、都市の利便性と生活しやすい環境を兼ね備えていること。私は作品を通して、そんな福岡の魅力を広めていきたいと思っています。



「クッキングパパ」



「クッキングパパ」
(講談社)
うえやまとち

まちの市場や飲食店が細かく描写され、福岡の「食」の魅力が際限なく描かれている。また、家族や会社の同僚など、主人公を取り巻く人々の博多ならではの人情味も見どころとなっている。



「博多っ子純情」



「博多っ子純情」
(西日本新聞社)
長谷川法世

福岡の個性を印象つける博多弁と、博多祇園山笠など、博多の風物詩を横軸にして展開する物語を通して、福岡のまちな新たな一面が見えてくる。

小説

時代の交錯を感じさせる
豊かなまちの表情が創作意欲を掻き立てる

美しい自然を背景に建つ近未来的な建物、懐かしさを誘う街の雑踏…、表情豊かな福岡のまちで繰り広げられるスリリングなストーリー、ほろ苦く切ない人間模様は人々の心を掴んで離さない。

漫画

福岡の魅力をさらに彩る
人情と言葉と豊かな食

地域の歴史や文化を物語る景観に加え、方言はその土地の個性を印象づける。作中で博多弁を話すキャラクターを通して、福岡のまちな新たな一面が見えてくる。

広告

商品を引き立て、心に残る
「第一印象」を

広告はいつも新しさと大胆さを探している。とくに、現代の広告事情において「インパクト」というのが、非常に大きなウエイトを占めている。ただ全面的に商品を押し出すだけでは、何の意味も成さない。とくに、スポッ的なテレビCMやポスターでは伝えられる情報は限られている。だから制作者は、インパクトのあるデザインや言葉を追求する。

ここにある1枚の車のパンフレット。福岡の景観が(マリゾンを臨む)効果的なアクセントとなつて、人の視線をひきつける。大地を走る車の前方に広がる、海と都市と山。それは福岡の美しい景観で広告のインパクトを創出するとともに、商品の多様性と進化、消費市場の可能性を感じさせる。

